



"To acknowledge the duty that accompanies every right"
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

THE OSACA CENTENNIAL

C/O OSACA YMCA
 1-5-6 TOSABORI, NISHI-KU,
 OSAKA, JAPAN

June 2000 No.12
 Chartered July 20, 1982

標語 Y'S SLOGANS (1999~2000)	
クラブ会長	『楽しい奉仕活動、笑ってゆるして』
国際会長	"Enthusiasm makes the difference"
	『やる気が鍵だ』
アジア会長	"より良い世界を次世代に—美しい地球を守ろう"
	『Build a better world for the next millennium.』
西日本区理事	"21世紀に向かって新しい創造を"
中西部長	"ワイズの原点を見つめ、より良きワイズライフを"

クラブ役員 Officers	
会長	川村 一夫
副会長	栗山 佳三
書記	山田 孝彦
会計	三浦 直之
メネット長	隅田 恵子
連絡職員	神田 尚人

月間強調テーマ：『評価・計画』

—6月の聖句— [Biblical Message of the Month]

ファリサイ派の人々は、イエスがサドカイ派の人々を言い込められたと聞いて、一緒に集まった。そのうちの一人、律法の専門家が、イエスを試そうとして尋ねた。「先生、律法の中でどの掟が最も重要でしょうか。」イエスは言われた。「『心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くしてあなたの神である主を愛しなさい。』これが最も重要な第一の掟である。第二も、これと同じように重要である。『隣人を自分のように愛しなさい。』律法全体と予言者は、この二つの掟に基づいている。」
 マタイによる福音書 22章34~40節]

—6月第1例会— [June Regular Meeting]

日時：2000年6月21日(水) 6.30~8.30p.m.
 場所：ホテルサンガーデン堂島4F

1. 開会点鐘	川村一夫会長
2. ワイズソング	— 同
3. 聖句朗読	鈴木 謙介君
4. ゲスト紹介	川村一夫会長
5. 今月の強調テーマ	川村一夫会長
6. 日々の糧・晩餐	— 同
7. ①入会式	松浦孝次君 森田誠二君 川村一夫会長
②西日本区大会報告	参加者代表
③本年度成果報告	各事業委員長
④優秀ワイズ表彰	神 野・ 柳 誠 君 — 同
8. お誕生日祝い	— 同
9. ニコニコ献金	ドライバー
10. 役員会・委員会報告	役員・委員長
11. YMCAニュース	神田連絡職員
12. 閉会点鐘	川村一夫会長

—Attention Please!—

お願い!

6月例会では、各事業委員長より本年度の「成果報告」の発表をお願いしております。
 EMC(神)、BF(萩)、IBC・DBC(柳)、CS・TOF(關)、YEPP・YIA(柳)、Yサ・ASF(萩)、ファンD(山)、プログラム・物品(山・柳)、ドライバー(柳)、メネット(關)の皆様は、予め2~3分程度の成果報告をご準備の上、ご出席願います。

—6月のお誕生日—

下記の方々です。Happy Birthday!
 黒田メネット (26日)

—6月の例会当番—

第1班の皆様です。よろしく願います。
 (山田、鈴木、池永洋、中村茂、畠中)

[クラブ統計]

2000年5月		分類	第1	第2	BFポイント		ニコニコ献金	
在籍会員	22名	メン	16名	7名	5月：切手	571gr.	5月：25,051円	
例会出席	16名	メネット	6名	1名	現金	4,660円	(25,000円—有珠山被災献金に充当)	
他クラブ出席	0名	コメット	0名	0名	累計：切手	8,138gr.	累計：168,794円	
出席率	72.7%	ビジター	0名	0名	現金	61,179円	(51円のみ累計額に計算)	
(Attendance Ratio)		ゲスト	2名	0名			(除. X' MAS献金、オークション、記念献金)	
(メイクアップを純)		合計	24名	8名	(明細は"BF報告"参照)			

＝今月の聖句に寄せて＝

ファリサイ派とはユダヤ教の律法を厳格に守ることをモットーとしている人々、またサドカイ派の人々はユダヤ社会の富裕層で、教会ではファリサイ派に次ぐ勢力を持っていました。

彼らは宗教はあまり論ぜず、「今日」をいかに意義深く（贅沢に）過ごすかをモットーとしていた人々でした。しかし、今回の聖句の強調点は、イエスの「自分の隣人を自分のように愛しなさい」という言葉です。

先日教育TVで、「命の重さって何ですか」というティーンエイジャー達による座談会がありました。ある少年の「本当に自分を大切に思うならば、相手の生き方も尊重する」という言葉は大変重要な言葉でした。これは「何故人を殺したらいけないのか」という、ある17才の少年の狂気な、然し無視できない率直な疑問に端的に答える言葉でした。

人はその人しか果たせない独特な使命をもって生まれてきており、その人なりの夢や希望を持っています。誰もその生きる権利を抹殺できない筈です。自分を愛すれば愛するほど、自分の前途を無くすような犯罪は犯すことができないと思います。イエスの言葉、「自分を愛すように隣人を愛すべし」は千金の重みがあると言えましょう。これは17才の少年への一つの答えですが、皆様のご意見をお聞かせください。

(聖句選・コメント：黒田徹之)

＝5月第1例会報告＝

[Report of the May Regular Meeting]
(5月17日(水)6.30p.m.~8.30p.m.)

書記 山田 孝彦

5月例会はメン16名、メネット6名に入会予定のゲスト2名、合計24名が出席し、和やかで賑やかな会食のあと、本音の討論が展開された。

今月のテーマ「YSA・ASF」に従い神田連絡職員から「大阪YMCAの会員制度」の新しい仕組みについての説明を聴いた。基本会員を協力会員と維持会員に改正した主旨、基本会員と参加会員それぞれの違いについての説明がなされた。

耳新しい「ボランティアネット会員」等という言葉も出て、YMCAの活動を新しい関心をもって深めなければとの思いを強くした。

「YMCAの会員制度は、会員に利益を還元することよりは青少年事業を展開し地域社会教育、指導者養成が目的である」という説明に対し、メンバーからは「友人を会員に勧誘する時、入会により割引とか特典とか何か本人にメリットがある方が勧めやすい」、「ボランティア経験はないが何かできれば...と考えている若い人に入りやすい条件設定が必要」等の意見が出された。

討論の結果、まずY'sメンバーを増やし、そのY'sが協力会員になるというステップを考えるのが先決であり、そのためにはクラブの魅力の基となるサービスマネジメントについては、「我々クラブはこういう事業をやっている」と言える様な事業を明確にすることが必要との結論に達した。

これに関しては1泊研修で検討を継続することを確認し、例会討論を終了した。 以上

[Club Activities]

1. Total 24 members, Y's menettes and guests attended the May Regular meeting which was held on May 17, 2000. According to the Theme of the Month of the Japan West Region, "YMCA Service", serious discussion was made on how to increase the members of both YMCA and Y's men's club. We finally reached a conclusion that some unique and attractive aims of the club activities would be necessary for recruiting new member, and so, decided to have another meeting in order to discuss this particular subject once again.
2. Total amount of Yen 25,051 was contributed to the Club's Donation Fund, which would be given to Hokkaido YMCA as the relief fund of Mt.Usu disaster in Hokkaido.

＝5月第2例会報告＝

[Report of the May Officers' Meeting]
(5月24日(水)6.30p.m.~8.30p.m.)

広報委員長・藤原 正巳

当日の協議・決定事項は次の通りです。

1. 6月例会プログラム：表記プログラムの通り
 - ①松浦、森田両君の入会式を実施（分担確認）
 - ②西日本区大会出席報告
川村会長、黒田君、畠中君、中村君に2~3分程度の出席報告(感想)を依頼
 - ③本年度成果報告
各事業委員長より担当部門の成果につき3分程度の報告を依頼
 - ④優秀ワイズ表彰
表彰項目、内容、対象者等につき検討実施
2. 7月例会プログラム
 - ①新旧会長交代式
森本次期中西部長立会いにて実施の予定
 - ②年次総会
新年度予算審議、新会長方針表明、各事業委員長方針発表実施
これらの具体的内容については、6月末までにプリテン担当まで提出願うこととした。
3. クラブ運営関係
 - ①ピアー・パーティー
なかのしまクラブとの共催とし、開催日は8/9、8/16、8/23、のうちのいずれか都合の良い日に実施することとした。
場所については、サンガーデン堂島、またはリーガロイヤル四ツ橋のいずれかに決定。
 - ②1泊研修
場所は大阪府立青少年海洋センターとし、時期は9-10月を目処に畠中君に選定を依頼。
(6月第2例会で検討予定)
 - ③いのちの電話チャリティーコンサート(7/29)
割当ては1人3枚(6,000円)とし、クラブより1,000円の補助を行うことに決定。
支払いは後期会費支払い時に併せ支払い。
 - ④プリテン用紙(台紙)印刷の件
3,000部の印刷を承認(32,500円) 以上



〈YMCA 全員討論会にて〉

—5月BFニュース—

[Report of the Brotherhood Fund in May]

BF委員長：坂本 哲朗

◇切手提供者

池永(幹)君、黒田君、鈴木君、隅田君、田中君、
中村(隆)君、福永君、三浦君、山田君
* 当月の殊勲賞 山田君(200円)

◇現金提供者

坂本君、鈴木君、中村(隆)君、山田君

◇個人別データ

年度末が近づいて参りましたので、5月末時点での個人別の切手、及び現金提供状況を下記にお知らせいたします。

	切手(円)		現金(円)	
	5月	累計	5月	累計
池永(幹)	0	150	0	0
池永(幹)	130	210	0	1,000
川越	0	0	0	0
川村	0	25	0	1,000
神田	0	0	0	1,000
黒田	50	255	0	3,000
栗山	0	100	0	1,500
坂本	0	495	1,160	3,660
柴本	0	15	0	0
鈴木	40	300	2,000	18,918
隅田	40	457	0	1,000
田中	40	87	0	1,000
谷川	0	335	0	2,000
中村(隆)	40	510	500	2,500
中村(茂)	0	30	0	500
島中	0	1,620	0	1,000
福永	30	435	0	1,000
藤原	0	120	0	2,000
堀井	0	75	0	1,000
三浦	1	132	0	0
山田	200	2,160	1,000	11,000
山村	0	287	0	2,500
その他	0	340	0	5,601
合計	571	8,138	4,660	61,179

連絡職員：神田 尚人

* 第8回ランチタイム・ロビーコンサート

日時：6月21日(木) 12:20~12:50

場所：大阪YMCA会館1Fロビー

内容：弦楽四重奏

曲目 ドヴォルザーク「アメリカ」

出演者：岡村華、手島絵里子、池田マリ、
田中貴里子

* 早天祈禱会

日時：6月16日(金) 午前7時半~8時半

場所：大阪YMCA会館 10Fチャペル

証し：任大彬(イデビ)氏(大阪聖パウロ教会
牧師補)

* 高齢者ワークショップ

日時：6月17日(土) 10:00~15:00

場所：ラポールひらかた

講演：高齢者健康事業(レクリエーション)
の現状と課題

講師：石田易司氏(桃山学院大学教授)

* 雑感

17才に象徴されるように、若者の心が荒れている。特に、心の捻じれが、非常に残忍で無機質な形で他人に向けられ、心の痛みも伴わずに命を奪うという行動にまで至っている。自分と人(隣人)を愛するということを、神の愛と共に、もっと若者に訴えて行く術を持たねばと、この頃強く感じます。(神田)

—IBC NEWS—

★ハワイ・ヌアヌクラブ(ヒラナカ夫人提供)

・ハワイ区大会が5月26日(金)から5月28日(日)までの3日間、オアフ島のバゴダホテルで開催されました。今年度のテーマは、"LET YOUR LIGHT SHINE"で、マスコミを通じて一般社会にもっとワイズメンズクラブの活動を知らせ活動への参加を呼びかけ様との主旨です。
・ヒラナカ邸でおなじみのカジノナイトが開かれました。東京南クラブの坂上氏夫妻を含む50人以上が参加され、1,000ドルの寄金が集まりました。
・フィリス・サカネさんがワイズ及びYMCAに対する永年の貢献によりクラブより表彰され、ワイズ・ゴールデンブックに名前が記されました。

★ニューヨークのベティーさん(谷川寛氏提供)

上海から帰ってすぐ世界YMCA同盟常務委員会出席のためカナダのトロントに飛びました。トロントの北150キロの森の中にカナダYMCA所有のキャンプサイトがあります。ここは昔BF代表で訪れたことがあります。5日間会議で忙しい毎日でしたが、テニス、バードウォッチングで疲れを癒しました。
滞在中香港からニューヨークに移住したベティーさんに消息を尋ねる電話をしました。一家はあいにく不在でしたが、帰国後自宅に電話が入りました。NYではいまだ落ち着いていないが元気であること、スタテン島は素晴らしい所だから秋にでもセンチニアルの皆さんでおいで下さいとのことでした。

